

富山市総合計画審議会 第3回部会 指摘事項と対応案

番号	部会	指摘事項	対応案
1	都市・環境	「安心・安全」と「安全・安心」の語順についてどのように整理しているのか。人を中心に考え、人の心が安心できる背景に安全という物理的環境、ヒト、モノ、カネ、空間がある。他の部会の了承が得られれば、広い意味で捉えて「安心・安全」で統一するという点でよいのではないかと。	「安心・安全」の順とする
2	都市・環境	P22(2)政策1「施策(1)災害に強く回復力のある安全なまちづくり」のところに、東日本大震災で被災した地域を鑑みて、「迅速な復興力がある」ということも必要ではないか。また、他力本願でないという意味も含めて「復興力」にも少し「迅速な」等の力強い意味合いをもつ表現があったほうがよいかもしれない。	本市は、現在、何らかの災害等に被災した状況にあるわけではないことから「復興」という言葉はなじまない 災害等が起きた場合、これまでは壊滅的な被害を受け復興するという過程をたどってきたが、東日本大震災の教訓から、これからは最悪の状態を想定して、事前防災をしっかりとし、被災した場合にも被害を最小限にとどめ、早期に都市機能等の回復を図る都市の「強靱化(レジリエント)」という考え方になっており、本素案においても「強靱」、「回復力」、「レジリエント」などの言葉を用いて記述している
3	都市・環境	・ P17基本構想の2. 都市像の中に「富山らしさ」とあるが、1. 基本理念に「富山らしさ」が入っていないのでは意味がないのではないかと。富山市が推進している「環境」というキーワードを盛り込んでほしい。 ・ 「自然が機能を高める」というのはおかしな表現に感じられるので、(環境という言葉との)組み合わせを考えるとそういう内容もふまえて検討いただきたい。 ・ 基本理念はすべてのセクションに必要なこと。「環境」というキーワードを入れてもらい、すべてのセクションにフィードバックしてもらいたい。 ・ 環境よりは「環境都市」としたほうがよい。富山市は日本では環境においてトップランナーであると認識されている。“世界の環境都市富山”ということが明るい目標としてあり、誇りにもつながるので、基本理念に盛り込むべきでは。	富山市総合計画は一部に比重のあるものではなく、環境に限らず、福祉、教育、観光などを含む富山市の市政全般における最上位の計画である 「環境都市」は、あらゆる言葉を網羅する言葉ではありえるが、例えば、福祉というニュアンスが弱くなり、どうしても「環境未来都市」など、特定の分野である狭義の「環境」をイメージしてしまうため、市のマスタープランにおける基本理念や都市像におけるキーワードとしては、なじみにくいと考える 以上のことから、市政全般に関わる富山市総合計画の基本理念や都市像は抽象的なキーワードとなってしまうが、ご理解いただきたい
4	都市・環境	全体の流れにちぐはぐな点が見受けられ、骨格がしっかりしていない。例えば目次を見るとわが国を取り巻く状況、富山市を取り巻く状況とあるが、自然災害等の我が国を取り巻く状況に対して富山市はどのようなポジショニングをとるのか、どのような対応をしているかを対応させて書くことで、我が国を取り巻く状況と富山市を取り巻く状況を別に書く意味があるのでは。	富山市の現状や課題につながるものを「わが国を取り巻く状況」として取り上げており、富山市にかかわることは現状や課題で明示している このように、全体としてつながりについては確認しているが、それぞれの項目で、明示化すべき内容が微妙に異なる場合もある
5	都市・環境	基本理念の枠内に「安らぎ」とあるが、「安らぎ」という言葉は静かな言葉。プラスして富山市としての魅力を作っていくように、元気なまちをイメージできるようなキーワードを入れていただきたい。	「安らぎ・誇り・希望」の相乗効果を活かし、これまで以上に富山市が活気のある都市となるため、基本理念に「躍動」を追加する
6	都市・環境	富山市の強みをもっと出したほうがよいのではないかと。 P15 3. 主要課題「⑩シティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成」と掲げているので、もっと遠慮せずに強力なイメージを前面に出したらどうか。	(2)富山市の現状の見出しを「富山市の強み」としての表記に変えるとともに、その記述においても、富山市の強みと今後の懸念について取りまとめる また、3. 主要課題「⑩シティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成」において、富山市の強みである暮らしやすさや豊かさの各種指標が全国でトップクラスにあることを例示的に示す
7	都市・環境	P22(2)「政策2コンパクトな(拠点とネットワークの)まちづくり」の「(拠点とネットワークの)」は括弧書きにしているが、()は不要ではないかと。	(拠点とネットワークの)は説明のため挿入しており、削除する
8	協働・連携	P9「④高次都市機能と産業の集積を活かした活力づくり」の追記部分、「天然のいけす」とも言われている富山湾についてもう少し強調したほうがよいのではないかと。	(2)富山市の現状「④高次都市機能と産業の集積(活力づくり)」に「天然のいけす」の記述を加える
9	協働・連携	P13「②少子高齢化と人口減少への対応」で、空き家の問題をどこかに書いておく必要があるのではないかと。	1. わが国を取り巻く状況「①少子高齢化と人口減少の進行」に記述を加え、その対応として 3. 主要課題「⑤集約化(拠点化)とネットワークの整備」において、「空き家問題」の記述を加える
10	協働・連携	P15「⑨伝統文化の継承と新たな文化の創造」で、「他地域の文化の流入により、(中略)富山らしさを失う」との表現を検討してもらいたい	「他地域の文化の流入により、(中略)富山らしさを失う」との表現を削除し、「他地域の文化に親しむ機会が拡大している」という表現に置き換える

11	協働・連携	富山市として品格のある都市景観の形成に努めているということを入れてほしい。	(2)富山市の現状「③多様で持続可能な地域(都市づくり)」に「良好な都市景観の保全・形成」の記述を加える
12	協働・連携	市民協働による共生社会を目指す中で、「協働」という言葉が当然のように使われているが、「協働」の意味について市民がどこまで認識しているのかわからない。「協働」とは何かの説明が必要。協働とは何を指しているのかを考える必要がある。	3.主要課題「⑩市民協働による共生社会づくり」において「協働」についての説明文を加える
13	協働・連携	地域が地域だけで解決するのは難しい。成功例の情報交換や人の交流を考える必要があるのではないかと。	具体的な施策は、基本計画・実施計画で検討する
14	協働・連携	基本構想、基本計画、実施計画を経て総合計画までのPDCAを考えることも大切ではないかと。	富山市総合計画では、施策を実施することによって得られる成果を表す指標を示し、施策の目標を明確にし、毎年ローリングをかけることとする さらに、計画実施過程では、市民意識調査などにより施策の効果の把握に努め、必要に応じて計画の見直しを図るなど、成果重視のまちづくりを推進する
15	協働・連携	P8の「③持続可能な都市づくり」の中で「…中山間地域においては過疎化が進行し(略)」とあるが、中山間地の山の管理の担い手不足の問題、施策について具体的に記入してほしい。	具体的な施策は、基本計画・実施計画で検討する
16	協働・連携	(2)の「政策1人にやさしい安心・安全なまちづくり」、災害のない富山市を目指す中に山間地の問題についての表現があってもいいのではないかと。	政策3 潤いと安らぎのあるまちづくりの「暮らしに安らぎを与える森づくり」に「安全」の記述を追加する
17	協働・連携	P10の「⑤共生の社会づくり」の中で「…新興住宅団地への転入者や住民の入れ替わりによる地域への愛着・帰属意識の低下(略)」とあるが、他方では転入者の定住、交流の拡大が求められると書かれている。	転入者を否定しているのではなく、転入者のみならず転居者も含めて、新しい居住地での愛着・帰属意識が低下し、地域活動等への参加意識が低くなっているという問題があるという趣旨である 文言について修正する
18	協働・連携	P16の「⑪シティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成」の中で「いつまでも『住み続けたい』と思ってもらえる…」とあるが、「思ってもらえる」という表現はおかしいのではないかと。	「市民が思える」に修正する
19	協働・連携	P9「④高次都市機能と産業の集積を活かした活力づくり」の中で富山は水深1,000m～海拔3,000mを強調する一方、そのような自然環境であることにより、断層や川の氾濫等の自然災害もあるので、災害に強い、安全安心を考える場合、断層や波による浸食の問題等について具体的に記入してほしい。	具体的な施策は、基本計画・実施計画で検討する
20	協働・連携	P22の(2)の「政策1 人にやさしい安心・安全なまちづくり」の中で食の安全にも触れているが、戦後70年で農地が荒れ、土中の微生物も失われ、戦前に比べて野菜の栄養価も低くなっていると聞いた。例えば農業に頼らないような土づくりについても記入してほしい。	具体的な施策は、基本計画・実施計画で検討する
21	協働・連携	・富山湾や山など景観も美しいところがあるが、駅なども離れており、人が集まる市場がない。 ・中心部から離れた旧町は死んでおり、市全体としての盛り上がりはない。転入者も含めたコミュニケーションをよくする社会づくりを。 ・細い道の除雪ができないから市の中心地に転居した。住んでいる人の意見を聞くべき。	具体的な施策は、基本計画・実施計画で検討する
22	協働・連携	基本構想には必ず人口の見通しがあるが、所得の実情については取り上げていない。富山市は地方都市の中では所得が高い(実質所得は日本一)地域であることについて触れてもいいのではないかと。	(2)富山市の現状「②暮らしやすい環境(暮らしづくり)」に可処分所得や女性の有業率の高さなど、富山市の強みを追加する また、3.主要課題の「⑪シティプロモーションの推進とシビックプライドの醸成」において、富山市の強みの例示として記述する
23	協働・連携	富山市の交通機関は串と団子と言われているが、団子の中身はどうするのか、協働はどのように進めるのか。地域だけで孤立するのではなく、他の地域との情報交換、人材交換についても記入してほしい。	具体的な施策は、基本計画・実施計画で検討する